

CBR250RR Dream Cup とは

「CBR250RR Dream Cup」は、Honda CBR250RR を使用したレースで、現在単気筒のマシンで開催中の「CBR250R Dream Cup」のステップアップクラスとして開催します。改造範囲を制限しているのは単気筒クラスと同じで、マシンの性能差がほとんど無く、接戦が期待されます。

2019 年も各サーキットで開催予定です。

使用タイヤは DUNLOP のワンメイクとなっており、住友ゴム工業株式会社様のご協賛をいただき、各サーキット開催の優勝者に公認タイヤが贈呈されます。

全国大会については、昨年同様鈴鹿サーキットでの開催に向け調整中です。

CBR250RR Dream Cup の魅力

1) パワフルで先鋭的なマシン

単気筒マシン「CBR250R」に比べよりパワフルなエンジンは「CBR250RR」の大きな魅力。スロットルワイヤの装着等、先進の技術を搭載し、レース車両としてもより磨きをかけています。

(2) 全国のサーキットで開催

参加資格は、年齢制限がなく、どなたでも参戦可能です。

全国の身近なサーキットでも開催するので、気軽にレースが楽しめます。

(3) 全国大会の開催

現在、鈴鹿サーキットの最終戦、「鈴鹿サンデーロードレース最終戦」において、単独開催を前提に調整中です。

詳細が決定次第、あらためてご案内いたします。

各サーキットの開催クラス

各サーキットの開催クラスについては、サーキットにご確認ください。

レース参加車両について

Honda CBR250RR を使用すること。改造範囲は制限されており、エンジン及びフレームはノーマルのまま使用します。

サイレンサーの交換は認められているので、スリップオンマフラーの交換ができます。アンダーカウル、キャッチタンクなど、ロードレースの基本的な仕様への変更、改造が必要です。

HRC サービスショップからは、レース専用車両のスポーツベース車が各ショップオリジナルの仕様で販売されています。また、市販車の CBR250RR を改造しレース用キットパーツを組付けて参加することもできます。但し一般公道の走行は出来ませんのでご注意ください。タイヤは DUNLOP のワンメイクです。DUNLOP の α -13SP が指定タイヤとなっています。

HRC CBR250RR スポーツベース車について

CBR250RR スポーツベース車は、HRC サービスショップにて完成車コンプリート化することを前提に、HRC から HRC サービスショップへ提供している車両です。

ベース車両は、レース走行に不要なパーツ(ヘッドライトやストップランプ等)を外し、ECU やハーネスをレース専用のパーツと交換。レース走行に効果的なハンドシフターやピットレーンスピード制御スイッチを装備しています。

さらに CBR250RR はクラス初となるスロットルバイワイヤを装備、エンジン特性やエンジンブレーキフィーリングをスイッチ一つで変更できます。

またオプションの F I セットアップツールにより、燃調や点火時期を調整できます。

各サービスショップで用意する販売モデルは、レースに精通したサービスショップならではのラインナップとなります。

(販売時期・仕様・価格については各サービスショップにお問い合わせ下さい)